

カキ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用 機構 分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	灰 色 か び 病	落 葉 病	黒 星 病	炭 疽 病	う ど ん こ 病	黒 点 病	すす 点 病	(ゆ 合 促 止) 進
イオウFL	M2		*e	-					◎			
クムラス顆水	M2		-	-					◎			
石灰硫黄合剤	M2		-	-			◎		◎			
トップジンM水	1		1	6		◎		◎	◎		◎	
トップジンMペースト	1		*c	3								◎
ベンレート水	1		1	6		◎		◎	◎		◎	
アフェットFL	7		1	3		◎						
カナメFL	7	劇	1	3	◎	◎			◎			
ケンジャFL	7		14	3	◎	◎			◎			
パレード15FL	7		1	2		◎			◎			
フルーツセイバーFL	7		1	3	◎	◎		◎	◎		◎	
アミスター10FL	11		7	3		◎		◎	◎	◎	◎	
スクレアFL	11		1	3	◎	◎		◎	◎			
ストロビーDF	11		14	3	◎	◎		◎	◎			
ファンタジスタ顆水	11		7	3	◎	◎		◎	◎			
フリントFL25	11		1	3		◎		◎	◎			
フロンサイドSC	29		45	1	◎	◎		◎				
フルピカFL	9		14	5	◎				◎			
アンビルFL	3		7	3					◎			
インダーFL	3		7	2		◎		◎	◎			
オンリーワンFL	3		1	3	◎	◎		◎	◎			
サプロール乳	3		14	4					◎			
スコア顆水	3		1	3		◎		◎	◎			
トリフミン水	3		1	3					◎	◎		
ルビゲン水	3		21	3					◎			
オキシンドー水80	M1		14	5		◎		◎	◎			
キノンドーFL	M1		14	5		◎		◎	◎			

カ

キ

カキ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用 機構 分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	灰 色 か び 病	落 葉 病	黒 星 病	炭 疽 病	う ど ん こ 病	黒 点 病	すす 点 病	(ゆ 合 込 防 止) 進
ドキリンFL	M1		14	5		◎		◎	◎			
バッチレート塗	M1		*d	3								◎
ジマンダイセン水	M3		45	2		◎	◎	◎		◎		
チオノックFL	M3		30	2		◎		◎	◎			
トレノックスFL	M3		30	2		◎		◎	◎			
ペンコゼブ水	M3		45	2		◎		◎	◎			
オーソサイド水80	M4		7	5		◎		◎			◎	
パスポート顆水	M5		30	3		◎		◎	◎			
ベルコート水	M7		14	3	◎	◎	◎	◎	◎		◎	
デランFL	M9	劇	90	5		◎		◎	◎			
ストライド顆水	M11		14	4		◎		◎			◎	
ゲッター水	1・10		7	3	◎	◎		◎				
ニマイバー水	1・10		1	3	◎	◎		◎				
ルミライト水	1・3		1	3		◎			◎			
ホーマイコート水	1・M3		*a	1				◎	◎			
ラビライト水	1・M3		45	2		◎		◎	◎			
ナリアWDG	7・11		1	2	◎	◎		◎	◎			
ナティーボFL	11・3		1	3	◎	◎		◎	◎			
テーク水	3・M3		45	2		◎		◎	◎			
ブローダ水	3・M3		45	2		◎		◎	◎			
ポリベリン水	19・M7		30	3	◎			◎	◎			
ビオネクトFL	M1・-		14	5		◎		◎	◎		◎	
ダイパワー水	M4・M7		14	3					◎			

*a:休眠期

*c:剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後

*d:剪定時及び病患部削り取り直後

*e:発病前～発病初期

カキ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	アザミウマ類	カキクダアザミウマ	チャノキイロアザミウマ	カキノヒメヨコバイ類	カイガラムシ類	カメムシ類	カキノヘタムシ類	カキノホソソノガガ	フタモンダラメイガ類	ハマキムシ類	イバラガバ類	スカシバ類	ヒメコスカシバ類	ケムシ類	アメリカシロヒトリ類	ミノガ類	ハスモンヨトウ類	カミキリムシ類	カキサビダニ類	ハダニ類	
パシレックス水	11A		*b -							◎			◎											
ハーベストオイル	UNM		*a -					◎																
オリオン水40	1A	劇	21 1	◎	◎	◎	◎	◎		◎		◎	◎			◎	◎							
エルサン水	1B		30 4	◎	◎	◎	◎	◎	◎															
オルトラン水	1B		45 2		◎	◎	◎	◎	◎															
ガットサイドS乳	1B		*d 2									カ			◎									
ジェイエース溶	1B		45 2		◎	◎				◎														
スミチオン乳*	1B		30 3					オ	◎	◎	◎		◎	◎				◎	若					
ダイアジノン水34	1B	劇	45 4					お					◎					◎						
マラソン乳	1B		30 4					◎						◎	◎									
キラップFL	2B		7 2	◎	◎	◎			◎															
アークリンク水	3A		30 3		◎	◎			◎	◎		◎											チ	
アーデントFL	3A		1 3	◎	◎	◎			◎	◎														◎
アグロスリン水	3A	劇	1 3	◎	◎	◎			◎	◎														
アデオオン乳	3A		7 5		◎	◎			◎	◎						◎	◎							
スカウトFL	3A	劇	7 5	◎	◎	◎			◎	◎														
テルスター水	3A		14 2		◎	◎	◎		◎															◎
テルスターFL	3A	劇	3 2		◎	◎			◎	◎														
トレボン水	3A		30 3		◎	◎			◎	◎			◎											チ
バイスロイドEW	3A	劇	14 3		◎	◎			◎															
マブリックEW	3A	劇	30 2		◎	◎			◎	◎			◎											◎
マブリック水20	3A	劇	30 2		◎	◎			◎	◎			◎											◎
ロディー水	3A	劇	7 3		◎	◎			◎	◎			◎											◎
ロビンフッドエアゾル	3A		1 5												◎	◎								◎
アクタラ顆溶	4A		3 3	◎	◎	◎		◎	◎	◎														
アドマイヤー顆水	4A	劇	*f 3	◎	◎	◎		◎	◎	◎														
アルバリン顆溶			1 3	◎	◎	◎			◎	◎														
スタークル顆溶	4A		*e 1						◎															
ベストガード溶	4A		7 3			◎																		
ダントツ溶	4A		7 3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎														
モスピラン顆溶	4A	劇	1 3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎														
トランスフォームFL	4C		1 3					◎																
ディアナWDG	5		1 2	◎	◎	◎				◎			◎											
デリゲートWDG	5		1 2	◎						◎			◎											
コルト顆水	9B		1 3			◎		◎																
ニッソラン水	10A		7 2																					◎
コテツFL	13	劇	14 2	◎	◎	◎				◎			◎											◎
パダンスG溶	14	劇	45 4			◎				◎	◎	カ		イ										
アタブロンSC	15		14 3		◎					◎				◎										
カスケード乳	15		14 2		◎					◎			◎			◎	◎							
ノーモルト乳	15		30 3							◎				◎										

カキ

カキ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	アザミウマ	カキクダアザミウマ	チャノキイロアザミウマ	カキノヒメヨコバエ	カイガラムシ	カメムシ	カキノヘタムシ	カキノホソ	フタモンマダラメイガ	ハマキムシ	イラガ	スカシバ	ヒメコスカシバ	ケムシ	アメリカシロヒトリ	ミノガ	ハスモンヨトウ	カミキリムシ	カキサビ	カダニ	
					類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類
アブロード水	16		*g	2				幼																	
マイトコーネFL	20D		7	1																				◎	
サンマイト水	21A	劇	14	2			◎◎																◎◎		
ダニトロンFL	21A		7	1																				◎	
ピラニカ水	21A	劇	21	1																				◎◎	
モベントFL	23		7	3	◎	◎	◎	◎																	
スターマイトFL	25A		1	1																				◎	
ダニサラバFL	25A		1	2																				◎	
ダニコングFL	25B		1	1																				◎	
サムコルFL10	28		1	3						◎		◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎						
テッパン液	28		1	2	◎	◎	◎		◎◎	◎◎		◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎			◎				
フェニックスFL	28		7	2						◎		◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎						
		*h	1								◎		◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	◎◎							
ヨーバルFL	28		1	2					◎			◎			◎										
ウララD F	29		14	2			◎																		
キックオフ顆水	4A・28		1	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎								◎◎	◎◎						

*商品によって適用害虫が異なる。

*a:発芽前

*b:発生初期(但し収穫前日まで)

*c:成虫発生初期～終期

*d:産卵期～幼虫食入初期(但し収穫45日前まで)

*e:発芽前～発芽期

*f:収穫7日前まで(但し露地栽培については発芽期から開花期を除く)

*g:開花期まで(但し収穫45日前まで)

*h:開花期まで

イ:イラガ

オ:オオワタコナカイガラムシ及びフジコナカイガラムシ

カ:カキノキマダラメイガ

コ:コナカイガラムシ類

チ:チャミノガ

ナ:ナミハダニ及びカンザワハダニ

ヒ:ヒロヘリアオイラガ

フ:フジコナカイガラムシ

お:オオワタコナカイガラムシ若齢幼虫

幼:幼虫

若:若齢幼虫

カ

キ

カキ (果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
落葉病	休眠期	・落葉を集めて処分する。	落葉病には、角斑落葉病と円星落葉病がある。 円星落葉病の発生が多いので6月上旬～7月上旬の散布が重要である。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。
	6月上旬～7月上旬・9月上旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 フロンサイドSC (FL) 2000倍 ベンレート水和剤● 2000～3000倍 ファンタジスタ顆粒水和剤● 3000～4000倍 ラピライト水和剤● 500～800倍	
黒星病		1. 窒素肥料は元肥を主体にし、過用しない。 2. 枝がこみあわないよう間伐する。 3. 病枝は切り取り、処分する。 4. 園内は排水を良好にする。	春と秋に雨が続くと多発しやすい。 次郎、禅寺丸は発生しやすい。
	発芽前 (3月下旬)	・次の薬剤を散布する。 石灰硫黄合剤 100倍	
	生育期	・次の薬剤を散布する。 ベルコート水和剤 1000～1500倍	
炭疽病		1. 窒素肥料は元肥を主体にし、過用しない。 2. 枝がこみあわないよう間伐する。 3. 病枝は切り取り、処分する。 4. 園内は排水を良好にする。 5. 剪定枝や落ち葉は翌年の伝染源となるので園内に放置しない。	春と秋に雨が続くと多発しやすい。 富有は発生しやすい。 ●DMI剤は連用しない。
	生育期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 キノンドーフロアブル 800～1000倍 スコア顆粒水和剤● 3000倍 ベルコート水和剤 1000～1500倍	
うどんこ病	発芽前	1. 発病園では早めに落葉を集めて処分する。 2. 次の薬剤を散布する。 石灰硫黄合剤 100倍	●DMI剤は連用しない。
	生育期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター10フロアブル 1000倍 ベルコート水和剤 1000～1500倍 トリフミン水和剤● 2000～3000倍	

力

キ

カキ (果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
カキクダ アザミウマ	展葉期および6月頃	<p>1. 光反射シルバーマルチなどの設置により成虫の飛来を回避する。</p> <p>2. 次の薬剤のいずれかを散布する。</p> <p>アクタラ顆粒水溶剤# 2000倍</p> <p>アディオン乳剤 2000倍</p> <p>オリオン水和剤40# 1000倍</p> <p>コテツフロアブル# 2000～4000倍</p>	<p>加害葉は捲葉となるので発生に注意する。幼虫や新成虫が幼果を加害する。</p> <p>#アザミウマ類での登録</p>
チャノキ イロアザミウマ	冬期	<p>・粗皮を削り、集めて焼却など処分し成虫を防除する。</p>	<p>#アザミウマ類での登録</p> <p>*a露地栽培については発芽期から開花期を除く</p>
	6月上旬～7月上旬	<p>・次の薬剤のいずれかを散布する。</p> <p>アクタラ顆粒水溶剤# 2000倍</p> <p>アディオン乳剤 2000～3000倍</p> <p>アドマイヤー顆粒水和剤#a 5000～10000倍</p> <p>ウララDF 2000倍</p> <p>コテツフロアブル# 2000～4000倍</p> <p>パダンSG水溶剤 1500倍</p> <p>ロディー水和剤 1500倍</p>	
フジコナ カイガラムシ	休眠期	<p>・粗皮削りやバンド誘殺を行う。</p>	<p>年3回発生</p> <p>卵のう形成後は幼虫のふ化を待って薬剤散布をする。</p> <p>#カイガラムシ類での登録</p>
	6月下旬(幼虫ふ化期)・7～8月・9月	<p>・次の薬剤のいずれかを散布する。</p> <p>オリオン水和剤40# 1000倍</p> <p>スミチオン乳剤 1000倍</p> <p>モスピラン顆粒水溶剤# 2000～4000倍</p>	
ツノロウ ムシ	剪定時	<p>・剪定時に除去する。</p>	<p>年1回発生</p>
	7月上旬～8月上旬	<p>・幼虫時に、次の薬剤を散布する。</p> <p>トランスフォームフロアブル# 1000～2000倍</p> <p>コルト顆粒水和剤# 2000～3000倍</p> <p>モベントフロアブル# 2000倍</p>	<p>#カイガラムシ類での登録</p>

